

⑤ 武道具通

中央体育館（大通東5）から東11丁目までの北1条通が**武道具通**と呼ばれています。武道具通は、昭和42年に、札幌市立体育所（北1東2）が老朽化し廃館するのに伴って、現在の中央体育館がオープンしたところから、北1条通に面した周辺に武道具店が集まったことに由来します。この辺りでは、現在でも剣道や柔道などのけいこに通う子どもたちの元気な姿が見られます。

▼朝剣道のけいこに通う剣士たち



南10条西6丁目から南14条西6丁目までの鴨々川に沿った通りを**せせらぎ通**と呼びます。鴨々川にホテルを呼び戻そうという市民の要望で、ホテル護岸工事が行われ、その工事に合わせて、平成元年から4年にわたって、整備されました。通りにはホテルのモニUMENTやベンチが設置されています。また、通り沿いには**渡辺淳一文学館**（南12西6）や中島公園内の**札幌コンサートホールKitara**があり、文学や音楽といった芸術に触れることができます。

⑥ せせらぎ通



▲渡辺淳一文学館

⑦ ミニ大通

北4条通の歩行者専用道は**ミニ大通**と呼ばれ市民に親しまれています。幅広い通りの中央に緑地帯が設けられるところから付けられた呼び名です。樹木の中に遊歩道や自転車道、広場があり、安らぎの空間を演出しています。



⑧ 界川遊歩道

地下鉄東西線円山公園駅を出て、大通西26丁目から南3条西26丁目までの通りが**界川遊歩道**です。民家やマンションに挟まれた通りは、買い物帰りの主婦や、学生、散歩のお年寄りなどが行き交い、生活と密着した通りとなっています。今年6月には、円山第3・第4町内会の皆さんが市と協働で遊歩道の花壇を製作し、道行く人の目を楽しませてくれています。



◀円山第3・第4町内会の皆さん

◆◆◆
今回紹介した通り以外にも、まだまだ魅力ある通りがたくさんあります。皆さんも、ちよつと足を延ばして通りを訪ねてみてはいかがでしょうか。新たな発見があるかもしれません。

